

平成24年度  
(第4四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)売上高は、111億7800万円と前期比104.4%となりました。収益面では、呉羽工場の償却負担増加、関係会社2社に対する貸倒引当金計上、新たに呉羽工場の棚卸評価減による製造原価の増加がありました。一方で収益の改善を図るため不採算事業の撤退、グループ会社の統合による効率化、加えて呉羽工場建設に対し富山市からの補助金収入もあり、その結果、経常利益187万円、当期純損失1900万円となりました。(事業運営面) 販売部門では、医薬品事業の売上高は堅調に推移し32億2900万円と前期比105.3%となりました。その一方、OTC事業に関しましては、3000店舗の拠点を確保し、売上高も伸びてきたものの収益的には、採算がとれない状況が続き他社へ事業移管を図ることにしました。

#### ○ 課題への取組み

医薬品事業は新規受託も相次ぎ堅調に推移しておりますが、その生産設備への投資も拡大しております。より一層の原価低減施策を実施しながら各工場の稼働率向上を図っております。更なる損益の改善を目指し、製品の統廃合等を進めていきます。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 名古屋 丸栄百貨店「第8回 富山県の物産と観光展」に廣貫堂として出店しました。やくぜんカレー等が好評でした。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第4四半期、平成24年4月～25年3月) (千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	10,308,895	10,690,875	10,710,621	11,178,032
経常利益	2,341	-213,030	-750,917	1,872

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上高は、139億6100万円と前期比102.7%でした。収益面は、経常損失3億900万円と前期より1億5700万円改善されました。

第3四半期より、日本薬剤が流通の重複の見られたメディフーズを吸収合併し、日本薬剤の食品部として営業活動を行う事で、業務効率化を目指しています。海外子会社では広貫堂コリアは、売上8700万円と前期比251.7%と好調でした。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・連結) (第4四半期、平成24年4月～25年3月) (千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	12,833,129	13,443,477	13,588,073	13,961,731
経常利益	235,994	-182,703	-467,561	-309,696

平成24年度  
(第4四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 薬都広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

新製品13品目、リニューアル製品3品目を導入したことにより、売上高は36億1000万円、前期比100.6%となりました。しかしながら、新製品およびリニューアル製品発売時における販売促進費等が高んだため、経常利益は796万円、前年比15.3%にとどまり、増収減益で24年度を終えました。

(事業運営面)

配置市場に求められる製品の開発・発売と、適切な製品の統廃合を推進します。また、懸場保全はもとより、製品とサービスを組み合わせ、新ビジネスモデルの構築に取り組みます。

#### ○ トピックス、適時情報

平成24年度に新発売した製品は下記のとおりです。

1. 第2類医薬品：2品目 指定第2類医薬品：1品目
2. 第3類医薬品：3品目
3. 健康食品・清涼飲料等：7品目

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成24年4月～25年3月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	3,781,812	3,753,116	3,590,646	3,610,771
経常利益	140,311	60,920	51,851	7,968

### 日本薬剤 株式会社

#### ○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前期比105.4%の44億6000万円となりました。経常利益は前期比49.7%の5300万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部および食品事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しています。

#### ○ トピックス、適時情報

・新発売 (4～3月)

医薬品 100mLドリンク	2アイテム	50mL・30mL内服液	5アイテム
医薬品 乗り物酔い止め	2アイテム、	医薬品 胃腸薬	1アイテム、
雑貨 鼻孔拡張テープ	1アイテム、	アルミ缶飲料	1アイテム
500mlペット飲料	1アイテム		

・平成24年10月1日付けにて当社を存続会社とし広貫堂メディフーズ(株)を吸収合併しました。

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成24年4月～25年3月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	3,400,150	3,974,134	4,227,858	4,460,165
経常利益	98,711	82,347	106,782	53,030

平成24年度  
(第4四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 第4四半期(4月～3月)売上高は20億500万円、前期比103.5%となりました。しかしながら、雑収入の減少および販売費における人件費及び旅費が嵩んだため、経常損失は1億8500万円になり増収減益で推移いたしました。

(事業運営面)

1. 全国24営業所長に対しお客様への訪問頻度の向上による販売力・情報収集力の強化を図りました。
2. 新製品『煌活寿』の販売開始に伴い、ソーシャルメディア活用による情報の共有化・提案力の強化を行うとともに、社内販売キャンペーンを実施することによる販売力の強化を実施致しました。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 4月1日より組織変更を行い我妻敏幸社長が業務本部長を兼任、営業本部長として飛田聡が就任いたしました。今後管理面、営業面の連携による組織力の強化を図ってまいります。
2. 3月30日、広貫堂本社にて新入社員21名の合同入社式を行い、その後2週間の新入社員研修を実施致しました。

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成24年4月～25年3月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	1,828,424	1,901,045	1,937,336	2,005,396
経常利益	4,413	-60,670	-92,382	-185,080

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 第4四半期(4月～3月)売上高は2億2100万円、前期比80.9%、経常損失は3700万円でした。損失額は、軽減されておりますが、依然赤字計上となっております。24年度においては、「出来たこと」「出来なかったこと」を総括し、全力をあげて期間利益黒字化を目指してまいります。

(事業運営面) 新規商品である「ファイトタイム」の愛用者が増加傾向にあり、又、リニューアル商品であるサンリキソⅡが3月より配置を促進しており、平成25年度5月以降から効果が期待出来るものとしております。又、引き続き、コスト抑制、粗利益改善に努めてまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 3月、管理者候補者の階層別研修を行い、施策の共有化を図っております。
2. 新人との交流を深める為、フォーカル研修後、インフォーマル研修を随時行っております。

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成24年4月～25年3月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	382,312	344,908	272,725	220,667
経常利益	4,280	-30,177	-47,930	-37,319